

## 釜石発・三陸レポート

## 旧釜石一中体育館感謝のイベント



避難所となった「閉校した旧釜石第一中学校の」体育館。来月の取り壊しを前に、6日、住民が感謝の気持ちを込めたイベントを開きました。

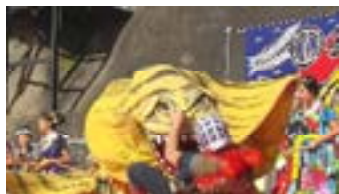


学校としての役割を終え、取り壊しを待つ状況だった去年3月11日、東日本大震災が発生しました。

体育館は避難所となり、一時は1000人を超える人々が肩を寄せ合い、不安な夜をすごしました。ここでの避難生活は、もっとも長い人で5か月間にも及びました。それだけに、避難者にとってこの体育館は、思い出深い場所でもあります。大震災を象徴する建物がひとつ、またひとつと姿を消す中で、この体育館は、多くの人が命をつないだ場所として、長く人々の心に記憶されてゆくことでしょう。(10/10 ニュースエコーより)

## 釜石で虎舞フェスティバル

震災犠牲者の鎮魂と復興を願い、釜石で虎舞フェスティバルが開かれました。このフェスティバルは伝統芸能



「虎舞」の保存団体が開いているもので今年が3回目。震災があった去年も絶やすことなく開催しました。今年も震災前の15団体には及ばないものの9つもの団体が参加。虎舞は本来、豊漁や海の安全を祈る舞ですが、今回の舞は震災犠牲者の追悼と復興への願いもこめられています。訪れた大勢の人たちは地元の海の幸を楽しみながら震災前と変わらず受け継がれる伝統の舞を堪能していました。



(10/21 岩手日報 IBC ニュースより)

## 宮古発

## 被災者の笑顔を「絵はがき」に



復興に向けて懸命に暮らす被災者たちの笑顔

を「絵はがき」に！。そんなボランティア活動がグリーンピア三陸



みやこの仮設住宅団地内にある交流施設「田老サポートセンター」

で行われました。この取り組みは、八戸工業



大学名誉教授の岡村隆成さんがボランティアとして三陸北部の被災地を回っているもので、



田老には今年6月以来

二度目の訪問となります。デジタルカメラで撮った画像をパソコン

に取り込みはがきの台紙に印刷して、最後は切手もプレゼント。五

分ほどでオリジナルの絵はがきの完成です。岡村さんは「被災者たちの日常的なつながりを持つための一つのきっかけにして欲しい」と今後も継続的に田老を訪れる予定です。(10/24 ニュースエコーより)

## 陸前高田災害FM発

## 「さんりく元気ラジオ」

「さんりく元気ラジオ！」(毎週水曜日・ワイドステーション)。今週は陸前高田災害FMの阿部裕美さんが、先週、陸前高田市竹駒町に新しくできた「竹駒食堂」から中継でレポートしてくれました。建物などは神奈川県逗子市の人たちと遠野まごころネットのボランティアさんによる完全手作り。そこに地元のおばちゃんたちが雇用されて厨房に入り、家庭の味をベースに定食などを出しているそうです。安くて美味しいと評判の「竹駒食堂」、そこで働く皆さんの熱い思いを伝えてくれました。



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122